

議決権行使レポート

証券コード 6463

会社名 TPR 株式会社

	賛成	反対	棄権
第1号議案 取締役9名選任の件			
末廣 博 氏	○		
矢野 和美 氏	○		
唐澤 武彦 氏	○		
伊井 明彦 氏	○		
鮎澤 紀昭 氏	○		
本家 正隆 氏	○		
加藤 敏久 氏	○		
大澤 加奈子 氏	○		
宗藤 謙治 氏	○		
第2号議案 監査役1名選任の件			
北原 正裕 氏	○		

上記の推奨をした理由

【第1号議案 取締役9名選任の件】

末廣氏はこれまでみずほ銀行で様々な役職を歴任し、金融・財務への豊富な経営経験に加えグローバルな知見にもたけている。また、代表取締役会長兼 CEO 在任年数が5年で、取締役会にも欠かさず出席しているため、十分な経験と信頼があると判断できる。しかし、末廣氏の代表取締役会長兼 CEO 就任以降 ROE がほとんど右肩下がりであり、2023年3月期には ROE が 2.87% となっているため、経営状況が良いとは言えない。今年度に関しては末廣氏の選任に賛成するが、今後も経営状況が改善されない場合には注意が必要になるだろう。

矢野氏は TPR に入社後長野工場生産技術部長や工場長を歴任後、現在代表取締役社長兼 COO を務めているように、生産部門の要職を経験し TPR グループの製品及び事業への幅広い経験と知見を有している。よって矢野氏の選任に賛成である。

唐澤氏は他社を含め海外事業部門の養殖を歴任し、海外経営管理にたけている。また6年間の在任からも引き続き取締役専務執行役員海外事業部門担当に適任であると判断できる。よって唐澤氏の選任に賛成である。

伊井氏は営業担当の重要な役職を長く歴任し、営業部門担当の取締役専務執行役員を4年間歴任しているため、十分な知見と経験があると判断できる。よって伊井氏の選任に賛成である。

鮎澤氏は技術部門の要職を歴任している。前年度まで技術部門にたけていた取締役の岸雅伸氏は在任年数12年であり、新しい役員を選任するのに適切なタイミングだ。その新しい役員として鮎澤氏は十分な知見と経験を持ち合わせている。よって鮎澤氏の選任に賛成である。

本家氏は長く日本銀行の要職を歴任し、他社の取締役も経験している。また、七年間の社外取締役の経験からも引き続き社外取締役としての職務を適切に遂行できると判断した。ISSの基準に則っても独立性は保たれている。よって本家氏の選任に賛成である。

加藤氏は味の素に入社後、同社の様々な要職を歴任した。味の素で経営に携わった経験から、TPRの経営にも適切な判断を下せられると思われる。ISSの基準に則っても独立性は保たれている。よって加藤氏の選任に賛成である。

大澤氏は弁護士として国内外で活躍し、複数社の社外取締役を歴任している。TPRの社外取締役に選任された後も、法律の専門的な知識・経験を生かして職務を適切に遂行できると思われる。ISSの基準に則っても独立性は保たれている。よって大澤氏の選任に賛成である。

宗藤氏は事業会社で長く要職を歴任し、現在はその経験を生かして経営コンサルタントとして活躍している。経営に関する知見と経験が豊富であるため、新任ではあるが社外取締役としての職務を適切に執行できると思われる。ISSの基準に則っても独立性は保たれている。よって宗藤氏の選任に賛成である。

【第2号議案 監査役1名選任の件】

前監査役の有賀義和氏の任期満了による新たな監査役の候補として北原氏が挙げられた。北原氏はTPR入社後複数の役員を歴任し、当社の事業に関する経験と知見を持ち合わせている。ISSの基準に則っても反対する要素はない。よって北原氏の監査役選任に賛成である。